

JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers



社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

〒550 大阪市西区南堀江1-26 南堀江スカイハイツ710号
☎06-543-0680

昭和61年 5月 第 8号

- 関西支部集会 報告・(京都六盛)..... 1~2
- 仕事遊び—雑感 桜井敬三..... 3
- パフォーマンス雑感 原田隆夫... 4~5
- ライトプランニングセンター (株)遠藤照明..... 6
- レディスワタナベ&ボイス(神戸三宮) 小宮容一..... 7
- ハローズ・ココス(長居公園) 蔭山利夫・山崎康正..... 7
- 生活遊園地「つかしん」 久保 茂..... 8
- なんばCITYファッションプラザ 久保 茂..... 8
- プリミティブなこと 郷力憲治..... 9
- 「金沢」につきあって 遊ing 久保田博文..... 10
- 各委員会メッセージ..... 11~12
- JCD 関西支部 同好会だより 12
- JCD 関西支部 委員会だより 13

広告掲載

- 松下電工株式会社..... 裏表紙
- マックス電機株式会社..... 表紙裏
- 株式会社 ABC 商会..... 3
- 株式会社 キノシタ家具..... 4
- 株式会社 遠藤照明..... 5
- 小泉産業株式会社..... 13

MAX ELECTRIC CO., LTD.
PROFESSIONAL LIGHTING FIXTURES

本社ショールーム

人と光が集う場。
タリエーターの方々の感性を刺激する新しい商空間のあり方を提案するライティング・コミュニケーション・スペース。様々な情報交換の場として、お気軽にお立ち寄りください。

M 照明器具の専門メーカー
マックス電機株式会社

本社 大阪府東淀川区鶴野町2-25-6 〒538 TEL. 06(5827-0040) FAX 06(5827-8888)
 東京支店 東京都目黒区中目黒1-4-29 〒153 TEL. 03(3704-2711) FAX 03(3704-8846)
 大阪支店 大阪府堺市東区東1-10-6 〒592 TEL. 06(1862-0729) FAX 06(1862-8837)
 仙台支店 宮城県仙台市青葉区大森1-1-1 〒984 TEL. 022(233-1255) FAX 022(233-2055)
 福岡支店 福岡県福岡市東区東区1-1-1 〒812 TEL. 092(282-1111) FAX 092(282-7888)

関西支部集会 京都で開催

昭和61年4月19日 京都岡崎 六盛西店

桜見の余韻のまだ残る頃、'86 JCD関西支部集会が京都、岡崎の六盛西店にて去る4月19日に出に開催されました。

このかわいは、岡崎公園を中心に動物園や市立美術館、国立近代美術館、京都会館、平安神宮などがあり市内でも有数の観光地となっています。

8年前、六盛の別館として建てられたものです。純和風の落ちつきのある料亭が、前を流れる琵琶湖疏水の風景の中に調和し、京都らしい風情をかもし出しています。「おこしやす」とやわらかな京都弁で迎えられ、古都京都の良さを新ためて認識した次第です。

当日は午後から市内で理事会が開催されて

いましたが、理事会終了後、理事メンバーもかけつけていただき、支部会員、賛助会員、合わせて約50名のにぎやかな集会となりました。

三々五々、集ってくる会員同志のなごやかな会話があちこちから聞こえ、すでに場内はなごやかな雰囲気つつまれていましたが、あらためて、「桜にはちょっと遅くなりましたがきっと平安神宮の垂れ桜は満開でしょう。一時をともにゆかいに過し会員の親睦を深めていただきますように。」との大菅支部長の挨拶と「JCDの社会的地位向上のために、職能集団としてのアイデンティティを高めるとともに、これまで何をしてきたかを反省

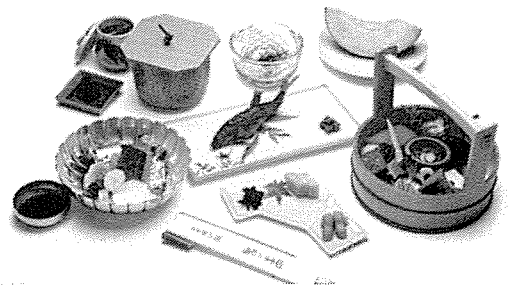


し、今、何をなすべきかを考え、アクティブに外に向かって働きかけていきたい。今後ともいっしょうけんめい協会のために努力したい。」高村新理事長の力強い挨拶を得て '86 JCD 関西支部集会が開幕しました。

その後、奥脇専務理事から新理事のメンバー紹介、松下電工、沢井部長によるカンパイがあり、出席された賛助会員や支部会員の自己紹介など、京都の名人「たる源」の手桶に季節折々の料理が盛られた六盛名物「手をけ弁当」に舌鼓を打ちながら会は終止などやかな雰囲気の中で進められました。

最後に、「ミニコミ紙、JCD KANSAIの発刊予定と寄稿要請」情報委員会、「JCD会員による講師編成によるセミナー計画や店舗設計塾計画」研究開発委員会、「ビアパーティー、犬山モンキーセンターでの「さる」の生態研究会、忘年会、「'87総会予定」組織運営委員会、などの常設委員会の年次予定や、J.C.Dゴルフ同好会への参加などの報告があり解散となりました。

忙中閑有ひとときの身を、伝統の街に置き、伝統の味を味わっての帰途につく会員の満足げな顔々が今回の集会を世話をいただいた方々の労をねぎらっているかのようなようでした。関西支部組織委員会の皆様、大変ごくろうさんでした。



手をけ弁当



「仕事遊び……雑感」

桜井敬三

初めて会った人などから、「あなたの趣味は？」と聞かれると、近頃、きわめて返答に困る。仕事以外の時間に情熱をかけてしている事が趣味だとすれば、せいぜい人並に、テニスか、スキーか、音楽を聞くか、酒を飲んでいるか、子供とどこかへ出かける程度であって、その時間すら少ない今の私は、「全く普通の仕事中毒の人」なのかも知れない。

しかし考えてみると、「仕事の時間」にけっこう充実した趣味的な心の充電をしているような気がする。例えば、研究や見学と称しては、街を舞台に遊んでいるし、そこで出会う人々との語らいを楽しんでいる。「仕事で出張」と言っても、「旅」だと思えば、全くすばらしい時間に思えるし、旅先の自然や食べ物や人々とのふれあいは、本来の所用よりも、私にとっては大切な目的に思える。

海外などは全くその典型で、この6月にも、コロラドのアспенでの国際デザイン会議を「聞き」に行くが、バンクーバーの「例の」視察もかねて、心の半分以上、いやほとんどは、充電気分である。

そういった思いは、誰でも当たり前なのかも知れないが、とにもかくにも、私は「普通の仕事中毒、仕事遊び人間」なのである。

それは、又、この仕事を始めてからそうになったのではなく、何かと大義名分をつけては遊んでいた子供の頃から、そうした性格をもっていたように思う。

私は子供の頃、彫りの深い数条の溪谷をいだいた大峰の山々が好きで、夏になると、よく父に無理を言って連れて行ってもらった記憶がある。下市日の駅をおりて、バスにのり、洞川まで行くと、大峰の稲村ヶ岳までの道程が、ゆるやかな坂道として感じられ、ほんの小一時間で行って帰れそうな気がする。頂上まで登りはじめる、まだほんのふもとの登山道の眼下に、クサギの花の群生がみえる所があった。

その場所が好きで、いつもそこへつれていってもらっていた。しかしそこが好きな理由が、今だに判然としない。特にその風景が気に入っていたわけでもなく、山へ登りたかったわけでもない。ただそこへ行くのは、「カラスアゲル」という青緑色の鱗粉を身にまとった、当時の私が知る216種の日本の蝶の中で最も美しいと思える「蝶」を採集する……それが私の「大義名分」であった。

それをきっかけに、私の蝶のコレクションは、164種を数えたが、蝶の収集より、私の本心は、あちこちの溪谷や自然の中に行きたかった…そこで思いきり遊びまわりたい…それだけだったのである。

今、自然と対極にある都市に居て都市の一部をつくる仕事をしているわけだが、そこには、自然とのふれあいよりもすばらしい人間とのふれあいがある。そんな気がして、今日も、明日も、「仕事を遊びたい」と思っている。

素材の質が語る、空間創造

イノベーション
INNOVATION+RENOVATION
プラスイノベーション

ABC商会は、いま、数々の商品でイノベーションを、そしてまた増・改築、改装のシステムでリノベーションを皆さまにご提案いたします。

ABC商会のショールームへどうぞ

アームストロング、ユーロセラム、コーラーをはじめ、世界の超一流品だけを一堂に集めたABC商会のショールーム。住宅・店舗・ビル・工場等の増・改装の前にぜひ……。

(株) **ABC** 商 会

大阪北営業所 大阪市淀川区西中島四丁目2番9号
TEL 06(305)2727 〒532
大阪南営業所 大阪市東区京橋一丁目7番地 OMMビル8F
〒540 TEL 06(943)2831

「パフォーマンス」 雑感

原田隆夫

「モノよりコトの時代」「何をやってもゆるされる時代」「パーソナルの時代」「心の豊かさの時代」と現代を表わすのにいろいろな言い方があるが、どれを取っても、一つでは何かものたりない。そこで「パフォーマンス」この言葉は決まった使い方があるわけではないが、今の時代の思想と気分を実によく表わしていると思っている。

少し前ハプニングと言う言葉が流行「ひょうきん族」が登上しパフォーマンスの先がけとなった。パフォーマンスとは元来、芸術や演劇活動に結びついていて自己の主張を概念として含んでいるので、現代の人々の行動原理や社会の雰囲気的一面を端的に集約するものとなっている。

このパフォーマンスの感覚が社会に広がった発端は、ハプニングの概念とともにテレビという舞台とヤングの結びつきであろう。

カメラの前でVサインを出すガキが増えたと思うと、深夜にまで顔を出す女子大生など芸なきパフォーマー達の自己顕示の感覚といっていだらう。

しかしパフォーマンスがそれだけのものであれば現代のヤング文化論として終わってしまう。これだけ社会認知されているということはもっと上の世代にも侵透しているといえる。

あらゆる世代がそれぞれのライフステージ、ライフスタイルをパフォーマンスの感覚で組み立てる様になって来たのではないか。

オトナのパフォーマンス感覚は、自己演出の為に人前に姿をさらす表面的な演技ではないが、日常生活というルーティン化をパフォーマーとして、とらえようとしているのである。

社会全体総パフォーマー化とはいってもオトナには、これまでに築き上げた価値感や生活態度がある。自己顕示に値するだけの差別性に裏打ちされたパターンが築かれようとしている。

このパフォーマー志向のルーツはただヤングに触発されただけのものだろうか、どうもそうでない気がする。生命体の持っている「存在論」の衝動にもかかわっているのかも知れない、この衝動は動物の牡に強くかかわっている。牡や仲間の関心を引く為の所作はまさしくパフォーマンスであるし、牡の容姿の華麗さも生命維持とは無関係でパフォーマンスの根源とも思える。

牡はもともと自然そのものであり、存在しているだけで充足していけるもので、これは子供を産み、育て子孫の増殖させていく生命の大きな流れの中心にいるからだろう。

牡はその生命の補助役として存在しているに過ぎないことを本能的に知っているからこそ、パフォーマーとしての振るまいをするのだろう。

人間の世界でも昔から学者や芸術家、発明家などは男の仕事の領域であった。こうしたことが男としての存在を裏づけるパフォーマンスとなり得たからだろう。

まだ生活そのものが苦しい時代には、家族

White Black Natural

70年代 **abond**

H02H Y01H S13H C14H R03N B15H/E15H K00H V15W/V15N U01H J21H J20H

KINOSHITA

株式会社キノシタ 本社ショールーム 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 TEL.06(644)554180

の生存の維持ということが男の存在意義として認められていた。

しかし、飽食の時代となった今、男たちは存在論的な隙間を何かで埋めなければならない。勿論この状況は女にもあてはまる、子育てが一段落すれば人生の空隙を充たすことを考えはじめる。

いつれにしろ、存在論的なパフォーマーは中年世代以降に精神的な充足を求め、ルーテンを超えようとして増大している事はいなめぬ事実である。

JCDも平均年齢が46才であるとかパフォーマー志向を感じておられる仁も多いのでは？
オトナのパフォーマーにはもちろん個人差があるし、社会上の地位や職業にもよるので、いくつかのパターンに分かれるようだ。

千葉商大の熊沢氏によると能動的なものと受動的なもの、また自己顕示的なものと自閉的なもの、同じ存在論から出発しながら4つに区分出来るのだそうだ。

ここにその四つを引用して見よう。

●存在拡張型

存在意義を積極的に発見し強化する方向でのパフォーマンス。自己の存在理由を自分の知的開発に求めたり、意思や肉体の眼界に求めることで、知的パフォーマンスと冒険野郎といえる。本来はプロフェッショナリズムが支配する分野であるが、プロフェッショナリズムの持つ形式主義への反省から刺激をもって見られている。

●存在不安型

存在論的な不安を直接に癒そうとするパフォーマーたち。

次々に資格取得に挑戦していくパフォーマーがその一例。サラリーマンのサバイバルで何かの役に立つ資格もあるかも知れないが、社会的に高く評価されるわけもなく、自分で正当性を納得している多分に自閉的なところが見られる。

●ナルシズム型

自己の存在を、美学的なフレームでとらえ直すことによって不安を癒すパフォーマー。

たとえば、中年ライダーが「ハーレー」でツーリングに出るのはナルシズムとはいいい切れないが「男の美学」へのこだわりを感じる。

●デモシカ型

あまり物ごとを深く考えないが、一種の退屈さから存在的不安を感じている人達、何らかのかたちで、しかも受動的に参加、熱狂できるものを求めるパフォーマー。

仲間との話題づくりが出来るもので、その時の流行であるイベントに列をつくったり、カラオケのマイクを離さないようなパフォーマー、つまりミーハー型パフォーマーに近い発想と行動様式である。

この様にオトナの潜在欲求の開発は今まさに一步を踏みだそうとしている。

OPT COMMUNICATION

光の新しい表現

光で遊ぶ、光を楽しむ。

多様化するインテリアスペースに新しい提案。

光のマテリアルを光学的にビジュアル化、

照明の可能性をより広げます。

2
つ
の
ニ
ュ
ー
コ
ン
セ
プ
ト

METALIA.

新・装飾時代

輝きが街を彩る。

画期的なコーティング技術が

新しい建築素材を誕生させました。

シルバー・ゴールドタイプのメタリアタイル。

様々な可能性を都市空間に。



本社・〒577 東大阪市衣摺5-18-1 TEL 06(727)32004代
大阪支店・〒540 大阪市東区内久宝寺町2-21 TEL 06(768)70114代

ライト・プランニングセンター

(株)遠藤照明 課長 売間克也

商空間を含むあらゆる空間創造において、有形・無形の2つの要素が存在します。家具などの有形要素、光・香・音・色など人の心理面に無意識のうちに影響を与える無形要素、照明器具はこの両方の要素を持つ素材であると思います。インテリアとしての造型を追求するとともに、光という心理面への影響も大きなウェートをしめています。

そして、この数年の間に後者（無形要素）としての照明が重要視されてきました。弊社も5年前にLE研究室という部門を設立しました。そして、“照明器具とあらゆる空間作りの接点”としての照明、つまりよりよい照明環境作りの提案をしてきました。3年ほど前に発表しました『UPPER-LIGHT』シリーズは業界でも話題になりましたが、これはLE研究室を中心に考えられた一つのコンセプトに基づくものでした。私達は、このLE研究室の考え方を単なる内部組織にとどめず、設計の仕事に携わっておられる多くの方とのジョイントに結びつけたいと考えました。そして“ライトプランニングセンター（LPC）”を発足させていただきました。第二の提案は『オプトコミュニケーション』光を素材と考え、徹底した無形要素としての照明の提案です。少しでも多くの方に理解していただくために私達は、コンセプトから説明させていただきたいと考えます。

また、ライトプランニングセンターでは、設計士の方とディスカッションさせていただきより多くの空間創りへの参加を念願していま

す。皆様方からご指導をいただき、よりご信頼いただける組織作りに努力いたしますのでよろしくお願い致します。

メタリアー先端技術の新建材

(株)遠藤照明 メタリア事業部

コンクリートジャングルの灰色の世界から輝きをもった新素材が今注目を浴びています。

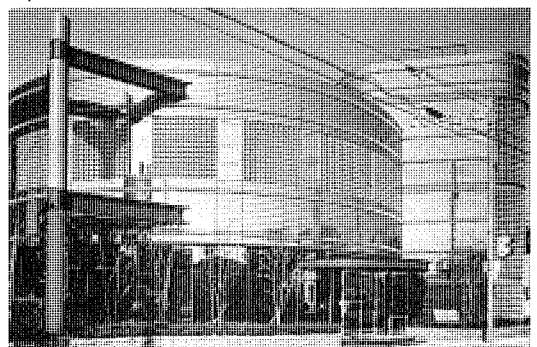
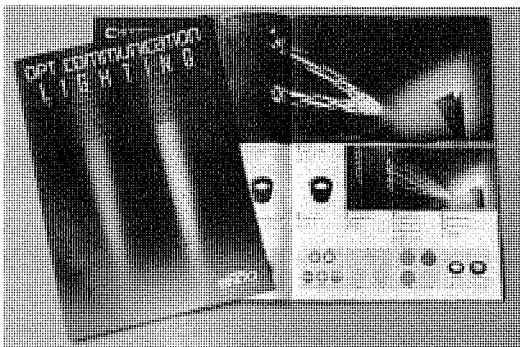
真空内での金属薄膜加工技術を駆使して、シルバー、ゴールドのメタリアタイルを世に出して1年余、最近の金属的感性のある建築資材として多くの引合いを受けております。

今回はその代表的な施工例として「大和歯車製作(株) 本社ビル」を御紹介します。

歯車メーカー本社ビルの建物自体に、メーカーとしてのアイデンティティが表現できないか？ この設計思想に建材として採用されたのが、シルバーメタリアとゴールド商品です。全体のシルバーメタリアの曲面に「歯車」をイメージされたデザインは、ゴールドメタリアのもつアラビア風幻想感と、シルバーメタリアの現代先端技術の合理性との合体であり、メタリアの素材感を極限まで表現されています。

物件名 大和歯車製作(株) 本社ビル
所在地 東大阪市御厨西ノ町4-1
設計 (株)スペースデザイン研究所
元請 (株)増岡組
使用品番 AP003-101S
AP001-101G

メタリアについてのお問い合わせは
(株)遠藤照明 メタリア事業部（大阪市東区内久宝寺町2-21 電 768-7581）まで、ご一報下さい。



レディス ワタナベ & ボイス

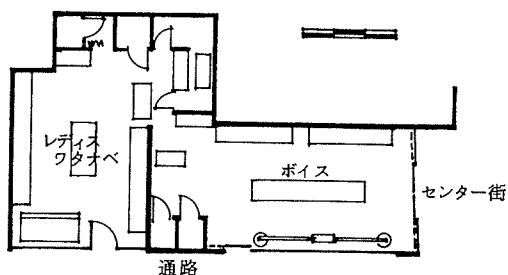
三宮センター街

設計 K&Kアーキテクト

小宮容一

従来ここに営業していた、ハイグレードファッションを扱う、レディス・ワタナベの改装である。新しくヤングカジュアルのブランドであるボイスを営業に取り入れることによって、レディス・ワタナベとの差別性（年齢・スタイル・価格等）をだし、販売促進の相乗効果をねらっている。

売場レイアウトは、アーケード側にボイスを、従来から固定客を持つレディス・ワタナベを奥にもっていった。レジ廻り、収納廻りをくっつけて、相互に行き来できるようにしてある。カラーコンセプトを、ウォームホワイト対クールホワイトとした。レディス・ワタナベをウォーム系とし家具・建具を杢出しのホワイト着色とし、ボイスの方をクール系として家具・建具を杢出しのグレー着色として、明解で、しかもそれぞれに個性が出るように、デザインした。



ハローズ・ココス 長居公園店

乃村工藝社 蔭山利夫・山崎康正

従来型のファミリーレストランから、カジュアルタイプのレストランとして新展開を計っている「ハローズ」の4号店です。

敷地の制約上、1階に駐車場・玄関（階段室）・ウインドサーフィンの店「ココス」（地権者）を配し、2階を、ボリュームの異なる4つの空間で構成された約130坪のレストランとしました。

意匠的には、既存3店舗のアーリーアメリカン風（今や世間に蔓延しきった感がありますが）に対して、モダニズムの要素を注入する事により、新鮮さと訴求方の強化、そして気軽さの演出を図りました。特にファサードの半分を占める大開口部は、室の天井高さと同様に、前面に広がる長居公園の木々を借景とする開放的な空間を生み出す事を意図されています。



生活遊園地 「つかしん」

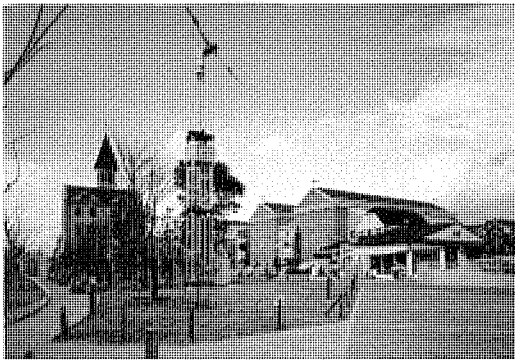
㈱乃村工藝社 久保 茂

人びとの暮らしのなかで、モノの相対的な価値観が変化してきました。現在のようにライフスタイルが多様化すればするほど、要求されるサービス、情報、あるいは感覚は、より高度なものとなります。つまり、モノ、サービス、情報がそれぞれ、単体で商業集積となり得た時代から、それらがいかに複合化し、生活文化をつくっていくか。これからの重要な視点が、ここにあると考えます。単なる商業空間から、モノとコト、モノとヒトとの関わり合いが作りだす、生活空間への発展。暮らしを創り、楽しむ街空間の創造。そういった新しく生活集積を展開していくひとつの試みが、この「つかしん」の街づくりです。「つかしん— その街づくりが目ざすもの」

シティクリエイイト

我々プロジェクトチームは、街をより街らしくする環境演出計画に

街全体の環境と調和を考えたサイン計画
街の表情に快いリズムをつけるモニュメント計画を推進しました。



なんばCITY

ファッションプラザ リニューアル

なんばCITYは、単なる商業集積でなく人の温もり、やすらぎのある、そして楽しむ街空間をめざし、しかも一般の街がそうであるように常に成長変化してゆく街です。

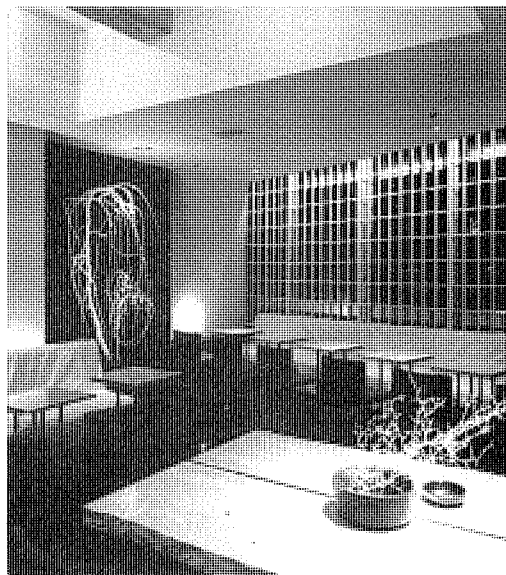


— プリミティブなこと —

郷力憲治

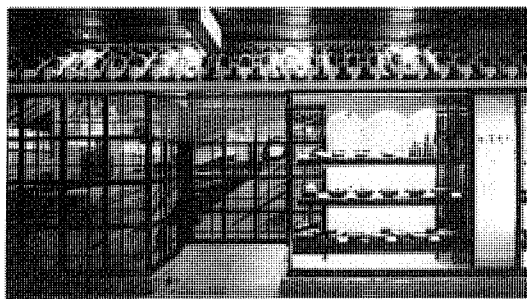
ちかごろとってもプリミティブな気分でやっています。元来、自然愛好家で家も山がみえないところは駄目、一時は12匹の野鳥と共に過していましたが、過酷な都市生活では無理と断念、子供達もだいぶ大きくなってきたので、ぼつぼつ休日には近くの山へでかけています。「人と自然と街」、この関係はずーと古代から現代、未来まで切っても切れない関係として存続しつつけることでしょう。人間は自然の中から多くのものを学びましたが、それはほんの一部にしかすぎません、知識としてではなく知恵として伝承し、日常のなかで活用しなければなりません。街の都市化が進めば進むほど原始とのきづな(精神)は強くなる、「アーバン・プリミティビズム」はこんな考えから生まれたコンセプトです。

昨年7月より今年4月に完成した仕事をご紹介します。

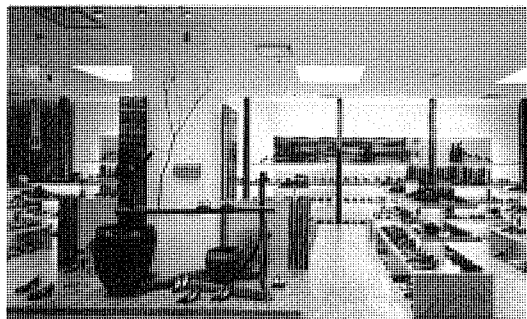


「アナム・アイル・モレ」

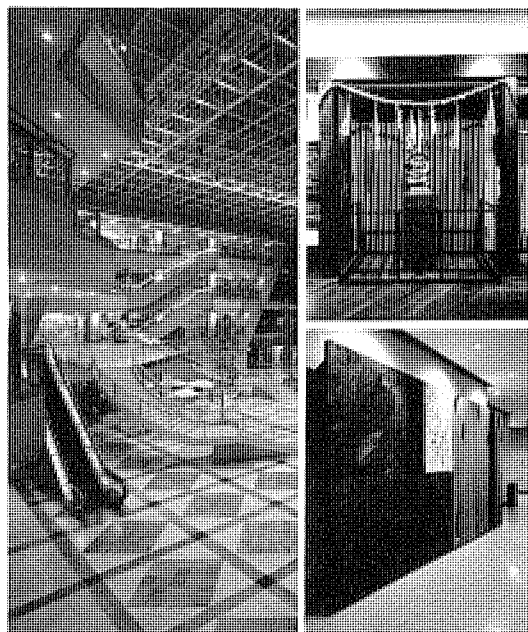
11月—都市百貨店6階の喫茶室
アイル・モレとはインドネシア語で「美しい水辺のほおり」、アナムは数字の6、センシブルな都市空間のオアシスはモノトーンの「石」の眩き。



「古潭老麺」 7月—呑み屋街のラーメン屋
沖縄の風土性「風・雨・太陽」をとられたハイタッチなコミュニケーション空間の演出。



「つかしん」9月—生活遊園地百貨店の2階フロア
洗練された都会の街(東街区百貨店棟)のレディスマーケットにおける「古材」によるナチュラルなディスプレイ空間。



「OBPギャラリーツイン21」

4月—ハイスクレパービル内の商業環境
ハイテックなアトリウム空間の環境演出は「地・水・火・風」4つのエレメントの4つの自然素材によるエクスペリションワークとサヌカイト(磐石)によるハイテック大黒。

金沢につき合っ

久保田博文

北陸本線で大阪から3時間とちょっと、金沢と言えば北陸地方の中核都市、加賀百万石の城下町、観光都市としてのイメージがだれにでもあると思います。「遊びに来まっし／＼金沢へ」とたくさんのガイドブックも発刊されています。もう金沢につき合い出してかれこれ10年になります。でも、それは全て仕事を通じてのつき合いです。だから遊ingといっても仕事の影を引きずってのことなのです。

観光案内はガイドブックにまかせるとして、古いものと新しいものが混然一体となった街、夜ふかしの街「金沢」について思いつきをちょっと。

金沢を「歩行都市」と言った人がいます。それは犀川と浅野川にはさまれたいわゆる旧市街が概ね3km四方で、十分歩いて移動できる圏内にあるからです。そして、金沢へ観光に来た人に裏通りを歩くよう進めています。なぜなら、裏通り、路地にこそ金沢の顔が残っているからです。昨年、香林坊で仕事をしていたのですが、現場の裏には戦月用水が流れ、通りを入った長町一带には土塀が続く武家屋敷町が残っているのです。新しいものと古いものが背中合せの街、それが何となく調和して不自然さを感じさせない所にこの街の不思議さがあるように思います。

そして、この「歩行都市」のもう一つの不思議さは夜の長いことです。夜の金沢の中心は片町交差点のかわいですが、金大を始め学生の多いこの街では、若者から実年までこれまた混然一体となって夜遅くまで人が徘徊しています。夜中の2時頃にはそば屋やラーメン屋が満員になるのです。夜の巷に仲間意識が育まれている街。24時間稼働のタクシー、ホテル、金沢女性の芯の強さとやさしさに「夜ふかし文化」がささえられているようです。旦那衆の街、小京都的な落ち着いたイメージとは別の所で、金沢は何か不思議なバイタリティ一さえ感じさせる街です。



武家屋敷跡 野村家

金沢へ来た最初の頃、金沢を知ろうと駅前から半日コースの定期観光バスに乗ったことがあります。今ではどこをどう回ったのか定かではありませんが、資料館とか史跡を中心に組まれていたように記憶しています。

今では、このような観光コースがあることが何か空々しささえ感じさせるようになったのは、つき合いの長いせいでしょうか？、金沢で生活する人々の日常とはかけ離れた所で来訪者を魅了する古い街とは別に今、金沢の街はダイナミックに変貌をとげようとしています。武蔵ヶ辻に始まり、片町・香林坊、金沢駅周辺と大型再開発プロジェクトが並行して進められており、その一部はすでに竣工を見て、稼働しています。

古き良き文化、過去の栄光を引きずりながらも「そんなダラな！」「ほやわいね！」、否定と肯定の間を「ぼちぼちやるこっちゃ」と今を生きることと明日の文化の可能性を追い求めている街、金沢とのつき合いはまだまだ終りそうもありません。

委員会メッセージ

組織委員会

組織委員会委員長 要 信行

21世紀の鼓動が聞こえた現在の現在、文明史的に大きな転換機にあることは、誰しも異論をはさまないでしょう。世界の先進国では、工業社会から情報化社会への過渡期にあり、情報化社会のあとにくる、知識社会への「夢」を描き始めているところです。

人間の絶えざる「創造する心」が、各分野で花開かせていますが、その反面、科学技術が社会にもたらす、明と暗の岐路に立っているとも言えます。我々の職能環境においても、今まさに、アートの時代へと運びつつあります。果たして、今までの流れと同じような物が来ているのでしょうか……何か、行き着くところがないものに、巻き込まれているのではないのでしょうか……もはや、個々の力だけでは解決出来ない時点にきていることを、十二分に認識する必要があると思います。

今後、我々が視野を大きく持ち、それぞれが果たすべき役割を果たし、創造者としての、普遍的な原理、原則を身につけ、個人と組織が連帯調和し、協会及び個人の、将来の発展を盛り上げることを実践しようではありませんか。

●テーマ

- ① グローバルな視野からの各組織との連帯
- ② イノベティブな創造者としての自己研鑽
- ③ アイデンティティのある協会、関西支部の開発

●運営事業計画案

- JCD定款施行細則
第3章 第12条 (常設委員会)

(1) 組織会員委員会

会の組織制度に関する事項、及び会員の身分業務等に関する事項の他、会員の参加すべき通常の集会行事に関する事項

- 1) 会員が有意義に集え、JCD関西支部活動が円滑に運営される為のサポート
 - 月例組織委員会の実施(新入会員の招待)

- 夏期ビヤパーティーの実施
(談話室との連帯)

- 年末サヨナラパーティーの実施

2) 優秀な新入会員、及び賛助会員の獲得、拡充

- 新入会員 2年間30名獲得、関西支部会員数を210名以上に。
- 新賛助会員 10社獲得

3) 関西支部に於ける活力ある、コミュニティ運動の推進と提案

- 支部集会、企画、運営。
- JCD関西 談話室の開催(年2回)
プロデューサー&ディレクターをめざす為の。
- 賛助会員、及び各種組織団体との交流
- '87 JCD総会の企画、運営
*87.1.24(出於、大阪
OBP 大阪ビジネスパーク。

研究開発委員会

研究開発委員長 赤松良一

今年と来年の関西支部研究開発委員会は、新進のメンバーを加え、4月7日第1回の委員会を開き、当面の活動方針を決めました。そして活潑な討議のうえ、全員で申し合わせたことは

1. 事業の基本方針として

- 1) 会議、セミナー形式の事業は今年特に考えない(メイン事業である商環境会議は今年関東支部が担当、来年担当のことはその段階でホットなものを考える。

- 2) JCDの持っている力を活用して、最底必要額の事業収入は必要であるが、これはいろいろ新しいことを工夫してゆく。

- 3) 会員自体の研究開発に役立つ催しを考たい。

- 4) 会員の社会への積極的PRを行う等々を基本として

2. 事業内容については

- 1) 各地の行政、商業機関が行う公的な催

委員会メッセージ

しへの講師の派遣

- 2) 会員名簿を各人の業務内容、考え方の判るものを作って販売する。
- 3) 店舗設計に的をしぼった塾か学校つくりを検討する。
- 4) 店舗、建築等の材料メーカーに対する研究・開発の協力、情報・意見交換。

などが盛沢山に提案されました。(但し実行の責任はもてません)

これらは、今後の管理系社会に対して、個人では限度のある事柄を社団法人であるJCD

の組織としてのアピールを強めたり、日進月歩の業務環境の中で、先づ会員各自の能力向上をはかる2点を強く意識していること、そして日頃何かとお世話になっている賛助会員に、我々の出来ることでサービスをしなければならぬことに留意した結果でもあります。

そして最後に、唯今で50数回目と、歴史と伝統のあるJCDゴルフコンペを重要な研究開発のテーマとして、新規会員の大増員を行うことも決めました。

以上研究開発委員会の近況報告と致します。

ゴルフ同好会だより

JCD ゴルフ同好会 活動報告

第50回例会 2月21日 泉ヶ丘カントリークラブ

氏名	所属	岩湧コース	葛城コース	Gross	H'cap	Nat	Rank
大田 貞	布谷	58	57	115	28	87	7
藤山 利夫	乃村工務社	46	51	97	18	79	3
嶋本 威彦	大光電機	47	56	103	29	74	2
東 徹	布谷	61	68	129	36	93	10
菅野 哲爾	ティーエスデザイン事務所	51	59	110	22	88	8
久保田 博文	赤松店舗研究所	64	58	122	22	100	BM
有馬 澄夫	小泉産業	60	63	123	24	99	BB
高田 博充	第一建設工業	57	49	106	26	80	4
竹内 盛夫	もりを建築設計事務所	49	48	97	15	82	5
片岡 正範	大光電機	45	48	93	20	73	優勝
赤松 良一	赤松店舗研究所	51	55	106	20	86	6
吉田 三郎	船場	54	55	109	18	91	9

第51回例会 3月28日 蒲生ゴルフ倶楽部

氏名	所属	伊吹コース	鈴鹿コース	Gross	H'cap	Nat	Rank
吉田 三郎	船場	57	53	110	18	92	10
植沢 俊一	Nowデザイントウス	55	47	102	24	78	5
藤山 利夫	乃村工務社	50	49	99	18	81	7
大田 貞	布谷	52	53	105	28	77	優勝
久保田 博文	赤松店舗研究所	55	54	109	22	87	8
山田 雄二郎	A B C 商会	46	44	90	19	71	2
桃田 紀男	ゼニヤ	51	48	90	21	78	4
売間 克也	遠藤照明	69	59	128	25	103	BM
吉岡 英雄	ローザ工芸	53	54	107	30	77	3
藤永 肇	自営(金属加工)	70	68	138	36	102	BB
菅野 哲爾	ティーエスデザイン事務所	60	54	114	24	90	9
片岡 正範	大光電機	49	45	94	15	29	6

第52回例会 5月16日 城陽カントリークラブ

氏名	所属	OUT	NI	Gross	H'cap	Nat	Rank
島田 俊昌	松下電工	40	42	82	10	72	4
福本 正明	アトリエ 福本	44	52	96	22	74	6
売間 克也	遠藤照明	61	67	128	25	103	BM
藤山 利夫	乃村工務社	50	45	95	18	77	9
平井 国彦	第一建設工業	48	55	103	22	81	11
大田 貞	布谷	49	59	108	22	86	BB
大野 大樹	小泉産業	56	59	115	36	29	10
竹内 盛夫	もりを建築設計事務所	48	49	97	15	82	12
木暮 盛夫	木暮デザイン研究所	45	43	88	18	70	2
植沢 俊一	Nowデザインハウス	52	54	106	24	82	13
嶋本 威彦	大光電機	45	54	99	29	70	3
高田 博充	第一建設工業	49	45	94	26	68	優勝
奥村 丑松	若い街	42	47	90	16	74	5
桃田 紀男	ゼニヤ	48	49	97	21	76	8
片岡 正範	大光電機	46	45	91	15	76	7

第53回例会 7月18日 宝塚方面にて

ゴルフ人間大募集

ただ今、同好会、会員を大募集しております。
ゴルフの好きな方、これからやってみよう
とお考えの方、今すぐお申し込み下さい。

申し込み先

61年度 ゴルフ同好会幹事
大田 貞 嶋布谷商業施設総合研究所 633-3321
売間克也 嶋遠藤照明 768-7624

組織委員会

● 61年2月28日 JCD ルーム

出席者 要、馬田、柴田、白井、野井、藤谷、
東

オブザーバー 大菅支部長

- 議題
- 組織委員会委員長所信の発表
 - 運営事業計画案・委員会組織の決定
 - JCD関西支部組織委員会 会務運営日程表の検討
 - 関西支部会の開催地について（特に奈良にしほって）
京都、神戸、明石、etc
 - 総会について討議 OBP（大阪ビジネスパーク）中心に企画する

● 61年3月20日 JCD ルーム

出席者 要、里吉、南原、白井、池島

オブザーバー 大菅支部長

- 議題
- 常任理事会報告
 - 関西支部集会の件
 - 62年度 総会の件

● 61年4月18日 JCD ルーム

出席者 要、馬田、里吉、柴田、野井、桜井

オブザーバー 大菅満義

- ビアパーティー／談話室の件
- 賛助会員確保の件
- 全国総会の件

情報委員会

● 61年3月17日 JCD ルーム

出席者 太田、菅野、蔭山、神戸、植村、老田、
久保田

- 議題
- 常任理事会本部関係報告・デザイン賞 各支部委員会構成
 - 機関誌新編集企画・会員拡充
62年1月総会予定
 - 新入会員4名決定・本年より本部特別委員会設置の件
 - JCD KANSI 継続発刊の検討

研究開発委員会



● 61年4月7日 JCD ルーム

出席者 赤松、太田、山田、郷力、野村、竹内
オブザーバー 大菅支部長

- 議題
- 研究開発委員会61年度 事業計画について

編集後記

機関誌第8号が会員の皆様にやっとおとどけすることができました。本年度から新メンバーによる新企画で増頁等により更に充実した年4回の発刊を予定し即時性のニュース的感覚は少し出しにくいかもしれませんが、JCD関西支部の会員と賛助会員の皆様も含めた唯一のコミュニティー誌として、続けて発刊して参ります。今後共皆様の絶大なるご投稿をお願いいたします。情報委員会はこの編集発行とともに、ミニ集会なども企画し次年度の大阪総会に向けても強く推進いたします。

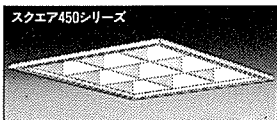
1986年、 **七かノ照明器具** は  **KOIZUMI** に変わります。

NEW WAVE, A SENSE OF LIFE
KOIZUMI

小泉産業株式会社

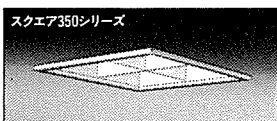
本社 〒541 大阪市東区備後町4丁目43 TEL.06-262-1751(代) / 照明事業本部 〒541 大阪市東区備後町3丁目 長谷ビル3F TEL.06-262-0861

ハイルイト15
(150クワット)
36W twin 蛍光灯3灯
NFFJ3000
GL ¥ 16,200.00



スクエア450シリーズ

ハイルイト15
(150クワット)
28W twin 蛍光灯2灯
NFFJ2000
GL ¥ 13,400.00



スクエア350シリーズ

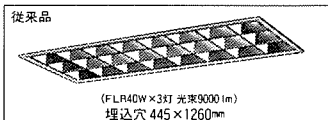
店舗用照明器具

スクエア450・350シリーズ

(Twin 蛍光灯採用)



スクエア450シリーズ
Twin 蛍光灯36W×3灯
光束9700lm
埋込穴 □450mm



従来品
(FLR4DW×3灯 光束9000lm)
埋込穴 445×1260mm

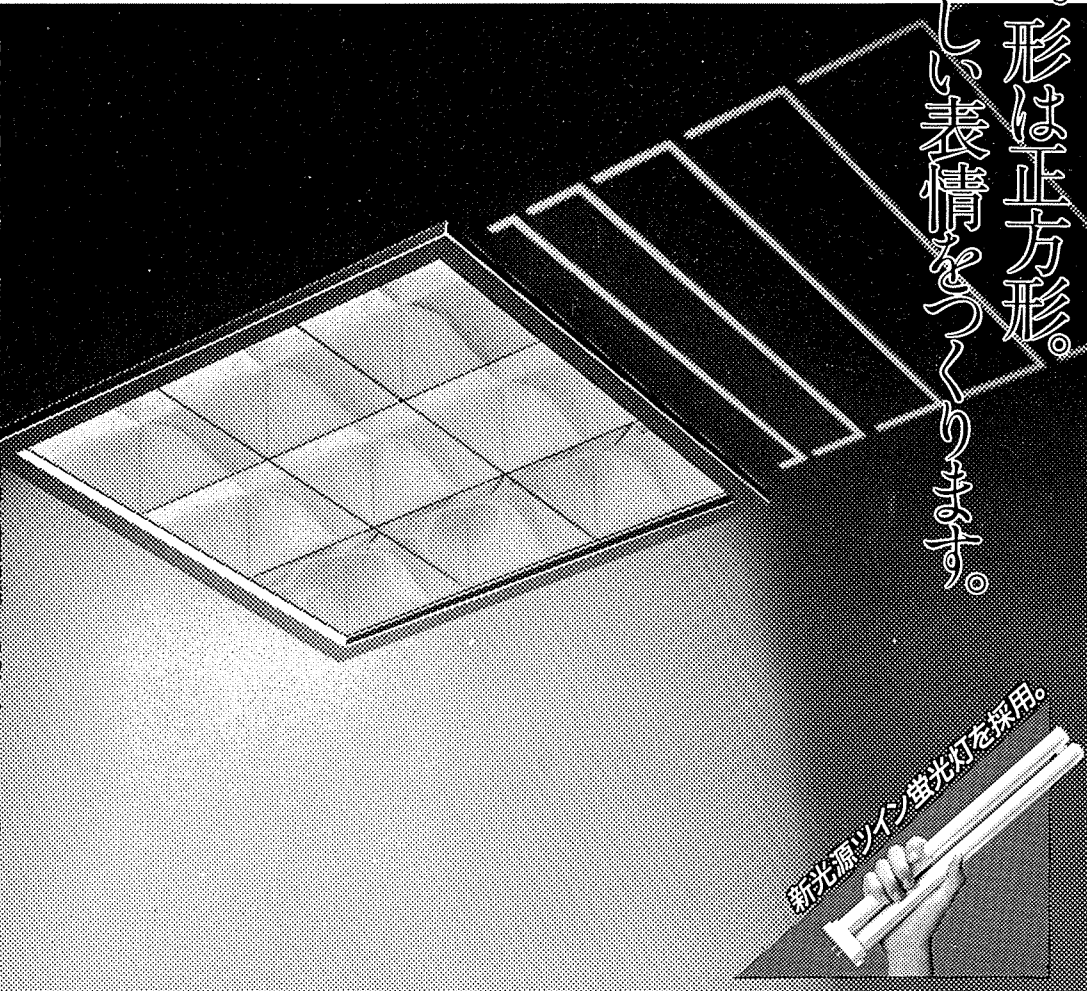
●Twin 蛍光灯28W×2灯の350シリーズもあります。蛍光灯ダウンライトとして店舗のベース照明にお勧めします。

コンパクトでハイパワー、演色性にすぐれた新しい光源Twin 蛍光灯を使ったスクエアシリーズの誕生です。写真の450シリーズ(Twin 蛍光灯36W×3灯)は、40W直管蛍光灯3灯用とほぼ同光束で、器具サイズは約1/3(当社従来品比)。正方形ですから店舗空間に方向性をつくらず、スッキリとした構成が可能です。

器具サイズ1/3。店舗空間に新しい

形は正方形。新しい表情をつくり出します。

●商品についてのお問い合わせは、(有)ナッシュ大阪府門真市門真1-04-8 松下電工株式会社照明事業部 (06) 6600-0000



新光源Twin 蛍光灯を採用。